

CONTENTS ◆奥沢まちなめぐりの実施に向けて ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて  
◆春のつどい報告 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

## みどりの街づくりガイド ～奥沢まちなめぐりの実施に向けて

会は創立以来 18 年となりましたが、いつも会の活動にご理解ご支援をいただき、深く御礼を申し上げます。新たなコアメンバーもお迎えし、会の定例会では 5 月の年次総会に向けて、熱心な話し合いを重ねております。(定例会は理事会ですが、一般の方のご参加も歓迎しています。基本、毎月第 1 土曜日午前 10 時からシェア奥沢にて開催しています。)

前号でもご紹介しましたが「みどりの街づくりガイド(仮称)の制作は次のような展開を予定しており、この内容を 5 月 15 日の「ミニ園遊会」と同日開催の総会でお諮りする予定です。

1. 景観木、街並み緑化事例、花木、等の調査  
(昨年度から継続)
2. 奥沢まちなめぐりの実施  
(ワークショップあるいは個人で)
3. 「みどりの街づくりガイド(仮称)」の制作  
(今年度中に発行予定)
4. 奥沢グリーンマップ改訂版の制作に向けた作業  
(発行は翌年度となる予定)

みどりの街づくりガイドを作る上で参考になる事例を前号で紹介しましたが、「奥沢まちなめぐり」で、自推・他推による、より多くの取り組みを発見したいと考えています。そのために「奥沢まちなめぐり」を実施しますが、以下のふたつの方法を検討中です。

- ①日時を決めて、参加者が一緒にまちなめぐりをする。
- ②暫定マップを配り、自由にまわっていただく。



最初のグリーンマップを作ったときは①で行いました。②の方が準備と集計作業に手間がかかりますが、より多くの人にご参加いただけたと思います。いずれでも、スポットの優劣は付けない方針です。改めてご案内しますので、ぜひご参加ください。(堀内)

### 資料：奥沢・土とみどりの街づくり宣言 (かいわい宣言)

宣言の目標：「緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街にしていくための住環境づくり」

宣言によって生ずる活動の内容：

1. 街並みの調和を大切にし、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。そのためには、住まいと街をつなぐものとしての建物の外壁、塀や柵、擁壁などのしつらえの方法や素材選びなどのアイデアを共有してゆく活動を進める。
2. 街並みに寄与している樹木を推奨し、周囲の住民の理解を得て、その保全に努め、新改築時に既存の樹木や生け垣を残す他、壁面緑化などの工夫を通じて、生活空間を豊かにしてゆくための活動を進める。
3. 季節の花がある楽しい街並みづくりや、文化活動を通じてご近所づきあいを活性化し、地域のコミュニケーションを深める活動を進める。

# お く さ わ 今 と 昔

(このシリーズでは毎回住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただいています。今回お引受け頂いた松居恵子さん、急にお加減が悪くなったため鈴木が聞き書きしました。)

## 「私の悩み」

大田区北千束 市川 光一

初めまして、4月に入会した市川光一といます。大田区北千束に住んで75年、退職して15年になります。

退職して地域の住人と気楽にお喋りできる仲間を作りたいと思い、大田区の区民大学の講座、卓球サークル、おもちゃ病院（おもちゃの修理ボランティア）、近くの公共施設の老人いこいの家の利用をしています（80歳前後の人の利用が多い）。

また、近所の子供達と顔見知りになりたいため、児童館の手伝い、小学校の夏休み「ワクワク教室」の開催などしましたが、近所の人、特に60歳から75歳ぐらいの男性との仲間が出来ません。どうしたら仲間が出来るか悩んでいます。

丁度その時「土とみどりを守る会」の紹介を受けて春のつどい、定例会に参加し、大変参考になる話が聞けましたので入会しました。

今まで個人だけの活動だけでは無理と思い、地元のまちづくりの活動をしている「大岡山地区まちづくり協議会」に入会し、部会の一つの「コミュニティー研究会」のメンバーになって活動していますが、なかなか満足する成果が得られません。

人と人とのつながりには「場、仲間、活動、情報」が必要な要素であり、特に一番大事な「地域交流の場」がないと何も出来ません、そこで地域の人が活動する事が出来れば、つながると考えます。そのような場が出来ないので悩んでいます。

その意味で「シェア奥沢」があることは素晴らしいと感じました。また、会員数の多いのに驚かされ、その活動も皆さんが一緒になってやる雰囲気がいいと感じました。

今後、会員の皆さんからいろいろと教えて頂く事があると思いますが、よろしくお願ひします。



新工場の長壁。右上が入口の位置  
東工大建設時の大岡山・奥沢（出典：蔵前工業会100周年記念特集）

## 「奥沢に過ごして」

神奈川県相模原市 松居 恵子



(在りし日の松居邸)

松居さん姉弟は平成25年まで奥沢2丁目の伝統的な和風住宅（昭和12年建築）に住んでおられました。取り壊しの時、弟の明夫さんから相談を受けた昭和女子大の堀内正昭教授が松居邸の調査研究を実施されました。

高校を卒業したばかりの恵子さんと11歳下の明夫さんは昭和31年に九州からこの家に越して来られました。この頃の奥沢の景色やお付き合いのお話しをお聞きしました。

その頃の、海軍村のあった奥沢2丁目はまだ土地の分割が余り進んでおらず、広いお家の玄関前には、棕櫚の木を背景に、白いビーナス像と大きなシャコ貝（ポッティチェリのヴィーナス誕生！）が置いてあり、シャコ貝の水鉢にはスイレンの花が咲いていたのが印象的だったそうです。

また松居邸の道路側の角には、落ち葉を燃しても殆ど燃えないシイの巨木があったそうです。（堀内教授報告書の植栽図にあるマテバシイと思われます。）近くには池があったりして、今とは比較にならないみどり溢れる界わいだったそうです。

みどりを守ることに話が及ぶと、大きなマツや庭木のメンテナンスには、古い住宅の維持も合わせると膨大な経費がかかり、緑化は安易にはできないと仰ってました。

恵子さんはまだ幼い明夫さんを連れてよく散歩されたそうで、当時の田園調布駅西側の半円形の街区には、バラの植込みと池以外は殆ど店はなく、唯一のお店ジャーマンベーカリーでアップルパイを食べるのが楽しみだったそうです。

父上が保険会社に勤務されており、お付き合いの広い裕福な家庭に育ったようで、奥沢には長じてからも互いに助け合える気のおけないお友達が多く、淵野辺に引越されてもなお度々遊びに来ておられるとのことでした。

# 奥沢の歴史を訪ねてXV

## 奥沢近辺の城址と地名⑨その他の城址 (viii)

今回は城址・砦紹介の最後として烏山城址(砦)と吉良氏が街道の要所々に置いた番所について書く。

烏山城址は芦花公園駅の南側一帯で、烏山川とその支流及び現在の京王線に囲まれた長方形の区域になる。

水田面からは2～3mの高さで、東西と南側は烏山川及びその支流の水田に囲まれている。元々ここに世田谷城の北西を守る為(対上杉・武田)の砦があって当然であるが、はっきりしていない。

天文4年(1535)高橋氏高は後北条氏の命によりここに城を築いた。これは同所の高橋竜蔵氏所蔵の「高橋系図」に記されている。

「高橋系図」によると、高橋氏高は後漢孝靈帝代末裔「劉高種」の子であり、色々あった後、北条早雲に戦い方が気に入られ、従うようになった。

小田原城敗北後、北条氏直に従い、一時高野山に入ったが、氏直没後烏山に戻った。高橋氏のことは新編武蔵風土記にも触れられている。

烏山城についてはこれまで研究書物等に「ウテナ化粧品工場のところ」とだけ伝えられていたが、三田義春氏が改めて城域を推定した。台地の北側部分は土塁や柵を築いたものと考えられる。城域に耕作地や集落を包含していた可能性があり、系図には北砦、南砦の記述が見られる。

中世の世田谷における城址・砦跡は以上であるが、世田谷城の周囲には幾つか番所が設けられていた。代田番所、北沢窪番所、常盤橋番所、駒留番所、向天神番所、弦巻番所、供養塚番所、桜木番所、八幡山番所、上北沢番所である。また、非常時に際して

(私たちの住むまち奥沢の成り立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介します。)

砦がわりに近くに幾つかの寺院を配している。それが常徳院、世田谷八幡宮、勝光院、円光院、勝国寺、善性寺、多聞寺、密蔵院、円乗院である。

この他「出張り」といわれるごく小さな小屋又は砦もある。奥沢小学校にあったと伝えられる大平砦、大音寺の朝鮮丸砦、奥沢4丁目付近の千駄丸<sup>せんだまる</sup>、田園調布中学校の出張り等である。

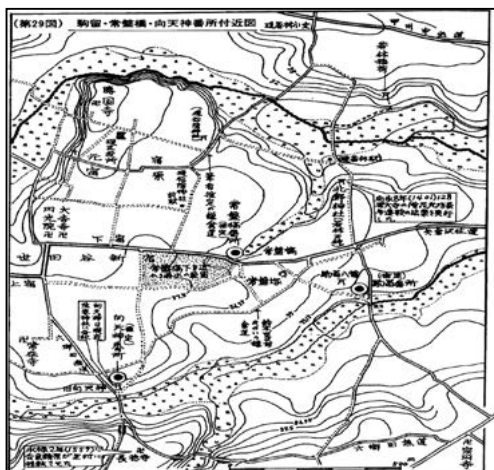
最後に常盤橋番所にふれておきたい。世田谷区第3回地域風景資産に「土とみどりを守る会」が推薦し、選定された『鷺草伝説ゆかりの奥沢城跡のある風景』の元になった鷺草伝説は、『名残の常盤記』<sup>なごりときわき</sup>という江戸時代の書物に書かれている。

その冒頭部分、伊豆国修禅寺の僧が諸国修行の途中、荏原世田谷の街道の小橋で休憩し、夢の中で常盤姫の物語を聞くことになる。その小橋が常盤橋で、世田谷通りの若林3丁目13番ネツトヨタ東京店脇の小径(緑道)に架かっていた。今も駒留神社内の常盤弁財天に橋名を刻んだ柱が置いてある。小川は世田谷通り拡張の折、埋められてしまったのだろうか。その名は今も世田谷通りを跨ぐ環状七号線の陸橋に残されている。

すぐ近くの上馬5丁目38番に常盤塚が、上町の常在寺には常盤姫のお墓やゆかりの石碑等が今も保存されていて、ただの説話とは考えにくい。常盤橋傍に番所があったのだが、今も世田谷通りはここで屈曲している。

次回からは奥沢の史跡を紹介していく。

参照史料：世田谷の中世城塞(三田義春著)、名残の常盤記研究(鈴木堅次郎著) (赤松)



(烏山城)



(世田谷区内の城址)

# 春のつどい報告

今回は久しぶりに「コンサート」と「お話し」のつどいでした。40人の方が参加されシェア奥沢がほぼ満席となる賑やかな会でした。

コンサートでは、ヴァイオリンとピアノのコンチェルトの予定でしたが、ピアノ奏者がインフルエンザであることが分かり欠席となりました。

ヴァイオリンの國本樹里さんはソロを予定していませんでしたので、急遽ソロ用の楽譜を入手したり曲目の変更で大変苦勞をされたようです。クラシックに造詣の深い堀内代表がCDによる伴奏でサポートしたりして無事コンサートができました。

チラシでご案内した曲目は大幅に変わり、譜面やCDと相談しながら曲目を選んだため、参加者の皆さまには曲名もよく聞き取れなかったかもしれませんがお許しください。曲はチャイコフスキーくるみ割り人形から「花のワルツ」(ソロ)、ヨハンシュトラウスⅡ「美しく青きドナウ」(CD伴奏)他でした。

身近で生で聞くヴァイオリンは素晴らしく、初めて聞く小生には感動的でした。シェア奥沢室内演奏は見た目にもマッチしていた感じですが、音響的にも良いのだそうです。

國本樹里さん本当に有難うございました。

第2部は「再発見！奥沢の魅力とは」のお話です。

奥沢の歴史については今まで総括的なお話を聞いたことなかったので、地学、歴史、考古学に造詣の深い赤松理事がお話しました。旧石器時代から海軍村までの世田谷や奥沢の歴史を聞き、参加者の皆様は奥沢が歴史豊かな地域であることを改めて認識されたと思います。

次に堀内代表が、今までの土とみどりを守る会活動の振り返りと最近行った街のみどりの調査を通じた奥沢の魅力についてお話ししました。公園が少ない地域であるにも関わらず宅地のみどりが豊かなのは、海軍村の頃の広い宅地が分割されてもまだ残っているためだけでなく、現在のように小さい宅地になっても、住民の方がみどりの育成に努めているためです。

(鈴木)



(演奏風景)

## 活動報告

●3月13日(日)北沢タウンホールで、世田谷区が開催する都市デザインフォーラム会場で、風景づくり団体有志による地域風景資産活動の展示が行われました。当会も赤松理事が担当し3つの地域風景資産を展示しました。

●会のシンボルフラワーであるチェリーセージプランターのメンテナンスを3月26日(土)に行いました。住民のご好意で道路脇に置かせて頂いており、現在奥沢2丁目に約100個あり、四季咲きの赤い可愛い花が、道行く人の目を楽しませています。作業も大分慣れてきて2日の予定が1日で終わりました。

## 会からのお知らせ

●ミニ園遊会を、5月15日(日)11時30分(雨天決行)よりシェア奥沢(奥沢2-32-11堀内宅)で開催します。皆様のお越しをお待ちしています。

●ミニ園遊会に先立ち、NPO法人土とみどりを守る会の総会を10時30分から開催します。会員の皆様には出欠の葉書をお送りしましたので、総会欠席の場合は委任状に捺印の上ご返送下さい。今回もシェア奥沢の室内開催のため、雨天でも実施します。

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える年会費は1口1,000円です。活動に直接参加されなくても、会活動を継続的にご支援頂けると幸いです。どうぞ御協力をお願い致します。入会のご連絡は下記へどうぞ。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢2-32-11 堀内正弘 6421-2118

世田谷区奥沢2-18-6 鈴木 仁 3723-6659

ホームページ : <http://tsuchimidori.net>